Syllabus Id	syl. -082011
Subject Id	sub.- 082004060
更新履歴	20080319 新規
授業科目名	総合英語 A（General English A）
担当教員名	勝呂　譲（Suguro Yuzuru）
対象クラス	S4
単位数	２学修単位
必修／選択	選択
開講時期	H20 通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	S4 教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

国際社会における英語の重要性に鑑み、日本の中堅技術者に求められる実用英語能力の修得を目指す。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

英検３級試験問題で 90%以上の正答を得る能力を持っていること。

	Weight	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、定期試験（及び臨時試験）によって行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 英検２級程度の問題に、リスニングで 60%、筆記で 80%の正答率を得る。
2. 一般的なコミュニケーション能力、社会常識を身につける。

授業計画（プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。）

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第 1 回	オリエンテーション、実力判定試験	プログラムの目標、授業概要、スケジュール、評価方法、受講にあたっての諸注意等の説明および伝達	×ま
第 2 回	1st day	２級筆記テストの出題形式&略法	
第 3 回	〃	〃	
第 4 回	〃	〃	
第 5 回	2nd day	頻出単語の復習・確認	
第 6 回	〃	〃	
第 7 回	〃	〃	
第 8 回	前期中間試験		×
第 9 回	中間試験返却、解説		×
第 10 回	3rd day	頻出語法、構文の復習・確認	
第 11 回	〃	〃	
第 12 回	〃	〃	
第 13 回	4th day	重要文法事項の復習・確認	
第 14 回	〃	〃	
第 15 回	前期末試験		×

第 16 回	期末試験返却、解説		×
第 17 回	4th day	重要文法事項の復習・確認（続き）	
第 18 回	5th day	読解問題の攻略法考察	
第 19 回	〃	〃	
第 20 回	〃	〃	
第 21 回	6th day	リスニングテストの出題形式＆攻略法考察	
第 22 回	〃	〃	
第 23 回	後期中間試験		×
第 24 回	試験返却、解説		×
第 25 回	6th day	リスニングテストの出題形式＆攻略法考察（続き）	
第 26 回	7th day	重要会話表現の復習・確認	
第 27 回	〃	〃	
第 28 回	〃	〃	
第 29 回	予備日		×
第 30 回	後期末試験		×

課題

各自の目標を達成するために必要な学習の進行状況を随時報告する。
オフィスアワー：特に設けることはしない。授業前後の休憩時間等を利用する。

評価方法と基準

評価方法

テストは原則として、テキストの既習範囲から担当教員が製作して出題する。評価は一年間の合計点（＊学年末テストのみを重視するわけではない）と出席状況、受講態度、学習意欲、外部試験の結果等を総合的に見て決める。

評価基準

テスト（含　定期試験および臨時試験）による評価 60%、その他の資料、要因に基づく評価 40%。オリエンテーションにおいて詳細を説明する。

教科書等	英検準２級予想問題ドリル（旺文社）
先修科目	総合英語 A、総合英語 B、英語 W、英語 C
関連サイトのURL	http://www.eiken.or.jp http://www.oubunsha.co.jp
授業アンケートへの対応	真摯に受け止め、授業改善等に資する。
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも 1 週間前に教科目担当教員へ連絡してください。